

令和 6 年度「亶理地区行政事務組合地球温暖化対策実行計画」取組結果

本組合は事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、「亶理地区行政事務組合地球温暖化対策実行計画（令和 6 年 4 月策定）」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでいます。実行計画の対象は本組合が行うすべての事務・事業・組織及び施設とします。

令和 6 年度における取組の結果は以下のとおりです。

1. 計画の目標及び実績

令和 1 2（2 0 3 0）年度までに二酸化炭素排出量を、基準値の 5 0 %まで削減することを目標とします。基準値は令和元（2 0 1 9）年度の二酸化炭素排出量とします。

単位：t-CO2

対 象	対 象	基準値	削減目標	目標削減量	目標値
		(A)	(B)	(A)×(B)	(A)－(目標削減量)
	二酸化炭素	534. 51	50%	267. 26	267. 25

実 績	令和 6 年度	排出量	削減量	削減率	目標達成率
		(C)	(A)－(C)	(削減量)/(A)	(削減率)/(B)
		479. 76	54. 75	10. 24%	20. 48%

2. 基準年度との燃料別二酸化炭素排出量比較

排出要因	二酸化炭素排出量（t-CO2）			
	令和元年度	令和 6 年度	増減	増減率
電気	188. 36	147. 62	▲40. 74	▲21. 63%
灯油	135. 27	111. 51	▲23. 76	▲17. 56%
ガソリン	86. 17	97. 55	11. 38	13. 21%
軽油	33. 80	26. 41	▲7. 39	▲21. 86%
A重油	90. 91	96. 46	5. 55	6. 10%
L P G	0. 00	0. 21	0. 21	—
合計	534. 51	479. 76	▲54. 75	▲10. 24%

全体では、基準年度比で二酸化炭素排出量は減少したものの、削減目標には至らず、目標達成率は 2 0 . 4 8 %となりました。

職員に省エネ意識が浸透しているものの、主に緊急車両に使用するガソリン及び葬祭場で使用する A 重油は、利用実績に比例し排出量が増加するため、削減が難しいものとなっています。

ハード面の改良等により排出を抑制する取組みがさらに必要と考えられます。